

Department of Pediatrics, Tsukiyama Hospital

月山病院小児科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000
 E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/ (～はキホー卜の@の上の^をshiftで変換)

今月の小児科診察予定

8月19日(火)は午後から大学診察のため時間外対応
 できません
 お盆休みはありませんが、いつもどうり
 8月12日(火)は午前中のみ、8月13日(水)は休診です
 8月末から9月にかけて代診、休診があります
 8月30日(土)夕診 近大小児科 守脇先生代診
 8月31日(日)午前診 近大小児科 守脇先生代診
 9月1日(月) 休診
 9月2日(火) 休診
 御迷惑をおかけしますが、お願いいたします
 金曜日午前中の診察は月山聖子が担当します、
 女性ならではの視点もあるかと思います
 育児相談等おきがるに御相談下さい



今月の顔
 佳菜子ちゃん、真衣子ちゃん
 とってもいい笑顔です

連載：今月はこんな月

8月はこんな月

8月初旬は夏かぜ(ヘルパンギーナ、手足口病など)や水ぼうそうの流行は残りますが減少していきます、感冒性胃腸炎(下痢や嘔吐を伴う)も減少していきますが、食中毒を原因とする腸炎が突発的に発生することがあり注意は必要です、そして8月下旬になると一年中もっとも感染症が少なくなる時期になります、喘息などアレルギー疾患も落ち着くために8月下旬から9月にかけては小児科外来は一年のなかでもっともすいている時期となります、日頃疑問に思っていたことを質問してみたり健診などにはよい時期です、お気軽に御相談下さい

	月	火	水	木	金	土	日
午前9時-12時			/				
午後2時-4時							
予約診(専門外来)	/	/					/
予防接種(予約)	/	/					/
午後5時-7時30分	/	/					/

熱中症

昔は日射病といいましたが、日に当たっているとただでなく、高温、多湿の環境で熱の放散が困難になった場合に発症するので現在は熱中症と呼んでいます、もちろん夏に多く発症しますので今回は熱中症についてお話しします

どういう状況でおこるの？

高温はもちろんのことですが、湿度が高い状況、無風状態、水分を充分に摂取しない時におこりやすくなります、なぜなら人は「汗をかく」ことによって体温調節をしているのにそれが阻害されるからです

どういった症状か

軽い時
 高温の環境のなかで激しい運動した後、足の筋肉(時に腹筋)がヒクヒクします

中程度の時(一般に日射病といわれているのはこの症状)
 頭痛、めまい、嘔吐、多量の発汗、低血圧などを認めますが体温は四十度以下で意識状態(受け答え)には異常を認めません

重症な場合
 四十一度以上の発熱を認め、汗は止まっていることが多く、意識障害(受け答えができない)を認めます

処置は？

中程度以下であれば(意識がしっかりしていれば)衣服をぬがせ涼しい環境に移してあげて下さい、口から水がとれるようであれば充分の水分を与えてあげて下さい、(できればナトリウムが含まれるスポーツ飲料が好ましい)口から飲めないようであれば点滴が必要で

重度であれば(意識がもうろうとしていれば)緊急性があり入院を前提として早急に受診させて下さい

なお、熱中症の熱に解熱剤は効きません(解熱剤で熱が下がれば別の原因の熱です)

予防は？

最も大切なのは予防です、左のようなことを守って下さい

乳幼児に過度の厚着は禁物です、(乳幼児はおとなより熱を放散しにくいので、大人より薄着にする)

車の車内はすぐに60度以上になるのでちよつとだけと思わず絶対に子供を車内に放置しないで下さい

高温下の運動の際には運動前に十分な水分を補給し、以後も水分とナトリウムを補充して下さい

飲料はナトリウム(塩)が入っているのでスポーツ飲料が最適です

境界領域(歯科)

歯のはえかた

歯について医師は専門ではありませんが、よく質問されるので今回からしばらく歯について連載していこうと思います

いつ頃からはえるの？

乳歯は標準で8ヶ月頃から、永久歯は6歳頃から生えてくるとされています、ただし個人差が大きく、一歳以上になってはじめて生えてくる方も多いため、一歳半ぐらまでは遅いからといって心配はいりません、逆に生後すぐに生えてくる場合もありますが、哺乳などに支障がなければ放置してもかまいません

どこから生えてくるの？

標準では下の前歯二本から生え始め、上の前歯、そしてその後増えつつ二十本になります、しかし順番はあまり気にしないでいいでしょう

乳歯の歯と歯のすき間は？

乳歯の歯と歯の間にすき間があっても異常ではありません、顎の発育(大きくなる)につれて歯と歯のすき間が大きくなっていくことはよくみられることであり心配はいりません、乳歯より大きい永久歯が生えてくるまでの調節と違って下さい